

放射線医学研究に関する情報公開および

研究協力へのお願い

当院では、放射線を使用した画像診断において患者様の単純X線撮影の再撮影率低減を目的とした研究として、Deep learning搭載ノイズ低減処理を用いたプレショットの有用性に関する研究を予定しております。

本研究では、同一の放射線量で異なる撮影手法を用いた患者様の画像データを使用するため、患者様の負担はなく、今後の治療方針にも影響しません。また、使用する画像データは匿名化を行うため、個人が特定されない形式で研究に用いられます。

なお、この研究は、埼玉県済生会川口総合病院倫理委員会の審査を受け、病院長の承認を得て実施しています。

① 試料・情報の利用目的及び利用方法

対象者は、2025年4月から2026年9月までに当院で撮影したプレショット使用の手関節側面画像（対象人数：100人）、およびプレショット未使用の手関節側面画像（対象人数：100人）です。また、画質評価を目的とした機械学習の教師データとして2020年4月から2025年3月までに当院で撮影した手関節側面画像（対象人数：500人）です。本研究の目的は、Deep learning搭載ノイズ低減処理を用いたプレショットによる単純X線撮影の再撮影率、および被ばく線量を評価することです。取得した画像は画質の評価、患者被ばく線量の評価および再撮影率の評価に使用されます。

② 研究に利用する試料・情報の項目

DICOM形式の手関節側面画像を使用します。主な評価項目は、性別、年齢、身長、体重、放射線被ばく線量、再撮影率および機械学習による画質スコアです。これら以外の情報は、画像出力時に匿名化され個人が特定されない形式で評価が行われます。

③ 研究実施機関

埼玉県済生会川口総合病院 診療技術部 放射線技術科

④ 提供する試料・情報の取得の方法

対象者の画像を、画像保存通信システム(Picture archiving and communication systems:PACS)より匿名化し、出力します。

⑤ 研究期間

研究期間は、承認日から2027年3月31日を予定しております。

⑥ 研究対象者への配慮

本研究で使用する画像データは、患者様が特定されない形式に変換され、評価終了時に速やかにデータの削除が行われます。また、研究で得られた結果は国内外の学会や医学雑誌等に発表されることがありますが、個人情報などが公表されることは一切ありません。本研究へのデータ提供を望まない場合は、研究責任者までご連絡ください。データの提供を拒否することで患者様への不利益が生じることは一切ありません。

問い合わせ先：埼玉県済生会川口総合病院

診療技術部放射線技術科

電話番号：0570-08-1551

研究責任者：森一也